

第4回 宮城県・熊本県 国家戦略特別区域会議

～産業拠点形成連携“絆”特区～

熊本県提出資料

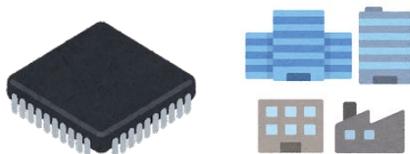
令和8年2月25日



概要

- 半導体関連産業の拠点形成に資する、関連製造事業所の再編・統合等集約及び輸送等効率化推進事業
→半導体事業を中心に生産拠点を集約し、生産効率の向上と生産キャパシティの拡大を図る。部品や半完成品の輸送を最少化、移動コストを削減することで渋滞緩和にも寄与。

【事業内容（イメージ）】



半導体関連企業（工場等）の増加



課題

- ・生成AIの需要の高まりにより、今後も増加する半導体製造装置の受注対応が必要
- ・受注増に伴う慢性的な生産スペースの不足により遠地に倉庫を借用
- 非効率な生産体制による利益率の低下

Hirata



新たな取得工場に生産拠点を集約
(新たな生産体制の構築)

①半導体製造装置の製造強化

ロードポート（製造装置の入口）、ウェーハ搬送ロボット、大気・真空環境対応装置、EFEM等の製造強化



②生産効率の向上・生産キャパシティの拡大、半導体製品・製造工程の進化に対応

- ・輸送や遠隔地在庫管理に伴うロスを解消し、生産効率を大幅に改善（生産能力：50%増/対2024比）
- ・オーダーメイドによるカスタマイズ・最適化の製造を強化

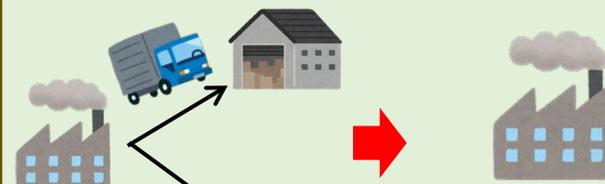


半導体関連産業の拠点形成

半導体製造装置の生産体制強化により、
半導体の安定供給化につながる

生産拠点の集約化

①企業進出が進む中、慢性的な交通渋滞が課題



半導体装置の部品や半完成品を輸送

新たな工場にスペース確保
→拠点間の輸送がなくなる

②遊休資産（旧工場）の活用

取得工場は既に使われていない廃工場



地域課題の解決

- ・トラック輸送の減少による交通渋滞の解消に寄与
- ・雇用の創出など地域活性化につながる

期待される効果

- ・半導体製造装置の受注増加に対応し、半導体の安定供給及び開発力の向上が図られ、半導体関連産業の国際競争力の強化、半導体関連産業の拠点形成に資する。
- ・輸送効率が大幅に改善し、課題となっている交通渋滞の解消に寄与する。
- ・生産量の増加に伴い、連携する半導体関連の県内中小企業の事業活動の活性化及び従業員の新規雇用など、県内への経済波及に寄与する。